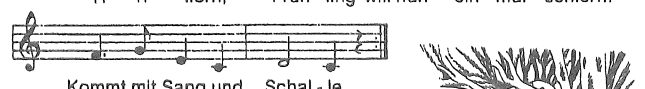
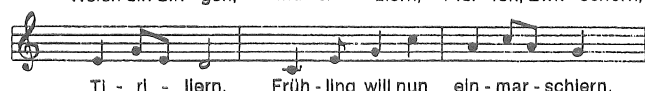
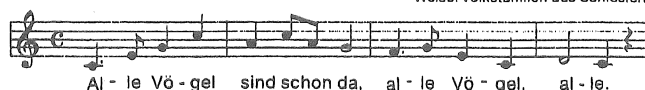


ドイツ語で歌おう！



Worte: Hoffmann v. Fallersleben
Weise: volkstümlich aus Schlesien



Wie sie alle lustig sind,
flink und froh sich regen!
Amsel, Drossel, Fink und Star
und die ganze Vogelschar
wünschen dir ein frohes Jahr,
lauter Heil und Segen.

Was sie uns verkünden nun,
nehmen wir zu Herzen:
Wir auch wollen lustig sein,
lustig wie die Vögelein,
hier und dort, feldaus, feldein,
singen, springen, scherzen.

湘南日独協会2006年度活動予定

■ 8月会員懇話会はお休みとなります。

■ 第47回例会

9月30日(土)午後6時～

モーツァルトの夕べ

■ 日時 平成18年9月30日(土)午後6時 開演

■ 会場 藤沢リラホール

■ 出演 川久保純子(ピアノ)湘南日独協会会員

松林桂子(ソプラノ)

和田ひでき(バリトン)

■ 会費 ¥3,000 一般参加

¥2,000 湘南日独協会会員

■ 曲目

ピアノ独奏 ソナタ k. 330

幻想曲二短調

ソプラノ独唱 静けさはほほえみつつ すみれ 他

バリトン独唱 歌劇「フィガロの結婚」より

伯爵のアリア 他

二重唱 歌劇「ドン・ジョバンニ」より 他

■ 11月1日(水) ジルヒャー合唱団と交流会

会場 藤沢市民会館 第2レセプションホール

■ 11月25日(土)13:30～16:30

第48回例会 講演会 講師 クライナー氏

演題 未定

湘南日独協会会報(Der Wind)

VOL. 8. NO. 4. 通巻46. 発行 2006. 7. 29.

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局：〒251-0025 藤沢市鵠沼石上1-1-1

江ノ電第2ビル7F

TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

No. 46.

湘南日独協会 会報

Der Wind

(風)

湘南日独協会 9月例会

モーツァルトの夕べ

— モーツァルト生誕250年を楽しむ —

モーツァルト生誕250年を記念して1月、3月にモーツァルト関連の映画会を開催しました。アマデウス合唱団・合奏団による戴冠ミサ曲も11月に予定されていますが、これに呼応する形で歌曲とピアノ曲を中心とした「モーツァルトの夕べ」を開催いたします。お誘い合わせお出掛け下さい。



モーツァルト

ロシア原子力潜水艦解体のお話を聞いて

会員 小林恭子

5月27日の例会のテーマはロシアの退役原潜解体事業。「ロマンチックな話ではないのですが、こうしたことが行われていることを会員の皆さんにも知っていただきたかった」と、松野義明さんのお話が始まった。松野さんは原子力の専門家で、2003年以来プロジェクトにかかわっていらっしゃる方だ。

日本海に面するロシア極東地域に、退役原潜が30隻以上、核燃料を搭載したまま何年も係留されている。中には事故を起こした原潜や腐蝕が進行した原潜もあり、海水の放射能汚染や核物質がテロリストの手に渡る可能性も危惧されている。ロシアもなるべく早く安全に処理したいのだが、資金不足のため思うように進まない。欧米日豪などの諸国は軍縮、核物質拡散防止、海洋環境保全を目的として支援している。日本は1993年頃から日露非核化協定のもとに支援を開始し、「希望の星」と名付けた極東地域の原潜解体事業を進めている。米国は100億ドル(1兆1000億円)、ドイツはロシア北西部沿岸にある退役原潜解体を支援し、17億ドル(1570億円)を拠出している。日本の拠出額は2億ドル(220億円)に留まっているのが現状である。

現場では長さ100m、直径10mもある原潜を3区画に切断し、核燃料を除いた原子炉区画は再び海面上に浮かべて保管するが、それ以外はスクラップとして細かく刻む。視察記念という金属片も回覧された。皆さん手にとり、放射能を気にしながらも眺めていた。参加者の関心も高く、質疑応答も活発であった。特に印象に残ったのは、武器ゆえに敵の攻撃目標となる潜水艦の動力が原子力であるということ自体が大きな矛盾を孕んでいるということだ。原潜の係留港に近いウラジオストック市内の写真もみた。終わりに宮下啓三さんからウラジオストックには昔ドイツ人が沢山住んでいた時期があったというお話があり、極東の軍事都市の意外な面にも興味が広がったところで時間となった。

祝

湘南日独協会がいつも大変お世話になっております
江ノ電沿線新聞社(吉田克彦社長)が今年
2006年に30周年をむかえられました。

おめでとうございます！

「ドイツ語圏の文化に親しむ」 講座をひらきます。

ドイツ、オーストリア、スイスの生活
や文化に触れながらドイツ語も楽しく
勉強しましょう！！

講師：宮下啓三先生

慶応義塾大学教授・文学博士

会場：湘南アカデミアサロン

会費：会員 10,000 円 (全 10 回)

一般 15,000 円

学生 7,500 円

会員学生 5,000 円

日程：2006年10月4日(水)より

毎週水曜日 6:30～8:00p.m.

申込先：湘南日独協会事務局

TEL 0466-26-3028

映画「バルトの楽園」を観賞して

会員 茂木晴子



第一次世界大戦(1914年)で敗れたドイツから五千人近い兵士が日本各地の収容所に入った。それはそれは劣悪な状況であったことだろう。しかし徳島、四国霊場一番札所近く坂東収容所にやって来た人達は所長、松江豊寿(松平健)の人権を遵守する対応をうけ、パンをやき、ソーセージやビールを作り、新聞の発行、楽管の演奏、やがて子供たちに器械体操や植物標本の作り方をおしえる等ヨーロッパの文化や教育の一端を披露し地域の人達もこれを享受した。戦争は終結し祖国に帰るに当たりお礼としてベートーヴェンの第九交響曲を演奏した…これが日本初演…映画のフィナーレではカラヤン指揮、ベルリンフィルの演奏がオーバーラップしてこのめでたい映画は終わった。

ドイツの将軍役はブルーノガンツ(ヒトラー最後の十二日間の主役)両国とも立派な髭(バルト)の将軍であった。現在も残されているセット「歓喜の村」でドイツのタルトを食べたいと思っている。

